

♪ 2学期も本校へのご理解ご協力ありがとうございました。3学期もよろしくお願いいたします♪



飯綱町立飯綱中学校 学校だより#11

# よきかな若人

2019-12-27

## ☆12月の給食から☆

学校生活の中で授業同様に大切な時間ー。それは給食の時間です。12月の給食目標は「寒さに負けない食事をしよう」です。体のことを第一に考えられていること、「食育」の側面はもちろん、子どもたちの日々の話題にも欠くことができません。

さて、今月の給食には「おはなし献立」が登場しています。第一弾として、「ONEPIECE」より「サンジの焼き飯」が、続いて「バムとケロ」シリーズより「バムとケロのプリン」、さらには「給食室の日曜日」より「オムライス」が登場し美味しくいただきました。

また、「冬至献立」や「クリスマス献立」、「年越し献立」など、季節を感じ味わう献立も満載な12月の給食でした。



## ☆「自主の<sup>いしずえ</sup>礎教室」を行っています☆



毎週水曜日の放課後、放課後学習教室「自主の礎教室」が開催されています。この「自主の礎教室」は、地域の学習支援ボランティアの皆様にご協力いただき、家庭学習の習慣および基礎学力の定着を目指した自主的な学習です。

今年度は、主に3学年生徒の希望者が、授業の復習や受験対策を中心に時間を活用していますが、今後は対象を拡大していく予定です。なお、地域の方の学習支援ボランティアも募集しています。

## ☆2学期の公開授業から☆

今年度のグランドデザイン「学校づくりの柱(学力)」の具現に向け、友と関わりある活動や思考・判断した結果を表現する活動、「人に分かるように自分の言葉で話す」場面を各教科で取り入れ、知識・技能の定着と、思考力・判断力・表現力を高める授業について、各教科で研究を行っています。

2学期は、国語、数学、社会、理科、音楽、保健体育、技術・家庭(家庭分野)、英語の各教科で研究公開授業を行いました。教科の特性をふまえた上で、個人追究やグループワーク、発表の場面等において、タブレットなどのICT機器を活用した学習の在り方についても研究を進めました。

3学期も引き続き各教科にて研究を行っていきます。



## ☆生徒会バトンタッチ☆

13日(金)、生徒総会・生徒会引き継ぎ会が行われました。生徒総会では、「一語一映～声で越えろ～」をスローガンに掲げた第50期生徒会活動結果報告および会計決算報告に続き、第51期生徒会役員の紹介がありました。引き継ぎ会では、新旧の各委員長・副委員長参加のもと、運営の方法や活動内容の確認などが行われました。26日(木)には、新委員会が行われ、新役員が緊張した面持ちで運営する姿がありました。2年生主体の生徒会、いよいよ始動です。



## ☆飯綱町との懇談を行いました(PTA)☆

11月28日(木)、飯綱町とPTAとの懇談会が行われました。保護者の皆様からお寄せいただいた意見・要望をもとに、町内小学校PTAとともに要望書を提出しました。小中共通の要望として通学路の安全確保について、本校からは、学校周辺の道路における凍結・積雪への対応、通学路への街灯設置、校内のWi-Fi環境整備について町当局にお願いをしました。

## ☆中高交流のひとつとして～牟礼駅イルミネーション装飾～☆



しなの鉄道牟礼駅のイルミネーション装飾に生徒会役員有志が参加しました。毎年恒例となっている駅舎の装飾は、北部高校生徒会との交流活動の一つでもあります。高校生とともにイルミネーションやクリスマスツリーの装飾を行いました。

## ☆2学期の教科・部活動の活躍☆

(敬称略)

### 【 教科 】

- 第33回「今を生きる子どもの絵」作品展  
＜中央入選＞ 澁谷 莉穂 上野 結  
＜地方入選＞ 神谷 露 金井 実夢 矢作 尚己
- 第70回長野県児童生徒美術展  
＜選抜入選＞ 絵画の部 渋沢 穂香 ＜地区入選＞ 立体の部 丸山 瑚白
- 第32回長水児童生徒美術展  
＜入選＞ 絵画の部 川内野大人

### 【 部活動 】

- 卓球部  
フレッシュマン大会 卓球男子個人 3位トナメント 第1位 北嶋 煉  
卓球男子個人 第2位 矢作 尚己  
卓球女子個人 第2位 速水 麦穂
- 陸上部  
新人体育大会陸上競技東北信大会 女子1,500m 第4位 中山 由梨
- 男子バスケットボール部  
第39回北信選抜中学校バスケットボール大会 準優勝  
第16回ミカサ杯争奪 中学校バスケットボール選手権大会 第3位
- 吹奏楽部  
SBCこども音楽コンクール長野大会 管楽合奏の部 優秀賞
- 女子テニス部  
新人ソフトテニス大会北信地区予選会 1年女子の部 第3位 宮島 結愛 吉岡 美咲

## ☆ 2 学期終業式に寄せて ☆

＜「杖言葉」～終業式での校長先生のお話より～＞

(※「杖言葉」とは、日常の中でさりげなく手となり足となり支えてくれる言葉のことです。)

杖言葉エピソードその1。これは小学校6年生の夏に、祖父が初めて私を褒めてくれた言葉です。おじいちゃんは孫たちをよく褒めてくれました。優しいおじいちゃんです。でも、私はあまり褒められた記憶がありませんでした。お盆に母親の実家に帰省していたときに、捕まえるのが難しいといわれているキリギリスを何匹も捕まえて帰ってきました。その時に、その優しいおじいちゃんが言った言葉です。「キリギリスを捕まえるのがうまい。」おじいちゃんに認めてもらえた気がしてうれしかったのです。

杖言葉エピソードその2。中学2年の時に、バスケットボールクラスマッチで、私のクラスは優勝しました。なぜならバスケ部のエースがクラスにいたからです。わたしはボールをまわして、とにかくチームの足を引っ張らないようにだけしていました。勝負を決める試合の中で、ゴールから少し離れた所に立っていた私にボールがまわってきました。当然、私には誰もマークがついていません。ノーマークです。

「小山、シュート!」そのバスケのエースの男子が叫びました。私は言われるままに、ゴールリングに向かってボールを打ちました。なんとそのシュートが入ったのです。優勝して、教室に帰ってきたときに、彼が言ってくれた言葉です。「小山のシュートが大きかったよな。」この言葉も一生忘れません。

このような言葉に支えられて、自分に自信をもつことができるようになっていきました。そして、決定的に、今の自分を支えている出来事がある、それは、高校1年の出来事です。

私は、高校では、バドミントン班に入りました。入部当初は、ついて行くのがやっとでした。ある先輩には、「いつやめるかな」と言われたこともありました。私はそれが悔しくて、その日の夜から家に帰って自主練習を始めました。夏が終わり、秋が過ぎて、2年生になろうとした頃です。私はまだバドミントン班も自主練習もやめていませんでした。ある日、その先輩と班活動の中で試合をする機会があり、なんとその先輩に勝ったのです。「小山、いつの間にか強くなったなあ」。嬉しかったです。「自分だってやればできる」、「やれば結果がついてくる」、この出来事は、私を大きく変えてくれました。

皆さんの人生は、まだまだこれからです。悔しさをバネに、自信を持つ経験を糧にして、いろいろな経験を積んで、自分を高めていってほしいと願います。

それでは、皆さん、よいお年をお迎えください。また、3学期始業式に会いましょう。

私はこの2学期、特に力を入れて活動したことが2つあります。

一つ目は、起業体験です。先輩方と「涼み処」という会社を立ち上げ、ママフェスタin飯綱で出店しました。準備段階の商品開発では、時期やお客様のことを考えて、どんな商品が売れるのか話し合いました。それまであまり話したことがなかった先輩ともコミュニケーションをとることができました。また、実際に販売することで、よく売れるための工夫を考え改善したり完売する喜びを味わったりするなど、働くやりがいや苦労を実感しました。今回学んだ、会社の仕組みや工夫、お金の働きや働くことの意義などは、きっと将来役立つと思いました。

二つ目は、飯綱校祭です。初めての飯綱校祭で特に頑張ったことは、合唱です。曲が決まり練習を開始するも、息が合わずバラバラでした。同じパートの人とできていないところを教え合ったり歌い方を工夫したりするなどして、練習を重ねました。すると徐々に息が合うようになってきました。合唱の上達とともにクラスの人全員とも、今まで以上に仲が深まりました。当日は、練習の成果を出し切ることができました。

最後に、2学期の反省を3学期に生かしていきたいことは学習です。理解が不十分なままテストに挑んだり復習ができていなかったりするなど、1学期に比べてあまりが集中ができませんでした。授業と家庭学習の取り組みを見直して学習を充実させ、3学期を2年生に向けてのよい準備期間にしたいと思います。  
(1年 古平 梨菜 さん)

私はこの2学期はとても忙しくて充実したものだと思いました。第2回職場体験や飯綱校祭、修学旅行の事前学習のスタート、生徒会選挙、そして引き継ぎなど、とてもたくさんの行事がありました。どれも記憶に残る素敵な行事でした。その忙しい中で日常生活はどうだったのか、振り返りしてみました。

私は授業中ボーッとしてしまうことがしばしばありました。3学期以降は授業に集中していきたいです。

私が特に意識したのは、あいさつと時間の厳守です。あいさつするときは、必ず笑顔で明るい声を意識しました。時間を特に意識したのは、授業前の3分前着席、ウォーミングアップです。しかし、意識はしましたが100%できたのかと考えたら、答えは「できていません」です。3学期は今よりも意識し100%にしたいです。

私は3学期を3学年につなげる学期にしていきたいと思っています。そのために日常生活を見直し、過ごしていきたいです。  
(2年 廣田 美優 さん)

この2学期はいろいろな行事と共に自分が「受験生」になったと自覚した学期でした。それは受験勉強です。皆さんは日頃、家庭学習はどのように行っていますか。僕は授業で出されたプリントをやったり苦手な単元の解説だけ書いて提出したり、教科書をざっと読み通したりするだけでした。ですが、これだけでは、自分の理解度をテストの点数も評価も上がりません。何が足りなかったのか。自分なりに考えた結果、プリントをやりわからなかったところの解説を提出ノートに書き、プリントと一緒に提出するという方法、プリントがない場合は苦手な単元の解説を書いてから問題に取り組むという2つの方法です。これらの良い点は、あらかじめ、どんな方法で解いたら良いのか、自分なりに理解できるということ、教科書を見なくてもノートを見れば振り返ることができることです。

そこで僕は、クラスで得意な教科とその教科の勉強方法についてアンケートをとり、次のことを各教科毎実践することにしました。

まず、国語は、ワークや基本文法など、1回目はわからないところを教科書などで見ながらやり、2回目は何も見ないでやるという方法です。漢字練習でも同じ事ができます。また、読書でわからない漢字の読み方について調べるといった方法もあります。

また、社会では、自分なりに年表や絵、図形などを提出ノートに書いてそこで単語などの大事な部分を覚えるという方法です。そうすることで、テスト期間中に教科書の代わりに見直すことができるし、時代の流れをつかむことができます。さらに、歴史に関する本や伝記など、関係する本を読むことで空き時間を有効活用することができます。

数学は、苦手なところは一人でやらず、友達や先生に教えてもらいながら勉強し、得意なところは一人で集中して勉強するという方法です。

理科は、苦手な単元の解説を書き、自分なりに理解をしてから問題に取り組むという方法です。大事なところはアンダーラインを引くことで、振り返ってみたときにわかりやすいです。

最後に英語は、わからない単語を提出ノートに覚えるまで練習し、ワークなどにある長文問題を解きます。また、自分が思いついたテーマについて英文を提出ノートに書き、先生に添削してもらう方法もあります。

自分の受験日は決まりました。ここに向けて、これらの方法を全て試していこうと思います。また、やれることをコツコツと積み上げていけるように努力していきます。3学期のテストで成果として残せる冬休みにします。  
(3年 藤田 和 さん)

## ☆お知らせ☆

### ☆生徒指導に関わって☆

生徒指導係より「冬休みの生活のきまり」が配付されています。安全・健康で有意義な夏休みになりますよう、ご家庭でもお子さんの休みの目標を大切に過ごしていただきたいと思えます。

### ☆学校リフレッシュウィーク☆

12月28日(土)～1月6日(月)は、学校リフレッシュ・ウィーク(学校閉庁日)になります。学校職員が原則不在となります。学校の諸対応につきましては、先日前配りしたお知らせ「冬期休業中の学校リフレッシュ・ウィークについて(お願い)」をご覧ください。

### ☆インフルエンザと診断されたら☆

風邪の症状に加え、全身のだるさや関節の痛み、急な高熱などの症状が出た場合は、医師の診察を受けましょう。インフルエンザと診断された場合は、十分な休養をとってください。発症翌日から5日を経過し、かつ解熱後2日経過するまでが出席停止期間となります。出席停止の期間が1月8日(水)以降に及ぶ場合は、7日(火)に学校へ連絡をお願いします。なお、登校には「治癒報告書」が必要になります。保護者の方が記入して、学校へ提出ください。様式は本校ホームページにも掲載してありますので、ダウンロード・印刷してお使いください。詳しくは、「ほけんだより12月号」をご覧ください。

### ☆学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました☆

学校評価アンケート「よりよい学校づくりのために」へのご協力ありがとうございました。アンケート結果およびお寄せいただいたご意見を踏まえ、3学期および次年度の学校運営に活かして参ります。結果につきましては、3学期発行の学校だよりでお知らせいたします。

飯綱町立飯綱中学校  
教務主任 荒井 和之  
電話 026-253-2244